



Earth Rise

No.2

平成 27 年 4 月 1 5 日(水) 発行

矢掛高校の活動や地域の様子・E S D
等について発信していきます。

岡山県立矢掛高等学校長 川上公一



「やかげ学」では、地域との連携を重視した様々な形態の学習活動を通して、他者との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「かかわり」「つながり」の重要性を理解していきます。また社会に積極的に寄与する能力を育成し、持続可能な社会が実現できるような価値観と態度を養うことを目的としています。「持続発展教育 (ESD)」を視野に、単なる地域貢献活動にとどまらず、持続可能な社会の担い手を育成していきます。

そして、本年度は、茨城県立筑波高等学校が、「やかげ学」を参考に「つくばね学」を立ち上げました。本校に何度も県外視察に来られ、ノウハウを研修されました。「つくばね学」の成功をお祈りします。

新しい体験的地域学 つくばね学



●目標

地域との連携を重視した様々な形態の学習活動を通して、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「かかわり」「つながり」を尊重する態度を養う。また、社会に積極的に寄与する能力を育成するとともに、持続可能な社会が実現できるような価値観と態度を養う。

●具体的なねらい

1. 体験的な学習活動を通して、学ぶことの楽しさの意義を理解する。
2. 地域の体験施設や人材を活用することにより、郷土や文化に対する理解を深める。
3. 校外の幅広い年齢層の方々との交流、異学年との交流活動、発表会や報告会を行うことにより、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。
4. 人間関係を築く力、社会に参画し寄与する態度、規範意識や公共心の育成を図る。
5. 自己の生き方・在り方を考え、職業観・勤労観を持つことで、自尊感情のある自立した個人の確立を目指す。

●具体的な活動

【つくばね学】(2 年次：総合的な学習の時間 2 単位で全員受講)

2 年次の 4～6 月に「つくば市のまちづくり」「つくば市の文化」「つくば市の歴史」「社会人としてのマナー」等の講義を受け、郷土つくば市についての理解を深める。7 月に実習先を決定して 9 月から各施設で実習を行う。

【つくばね学探求】(3 年次：B 類型の生徒のみ学校設定科目として 2 単位受講)

3 年次の 4～7 月まで 2 年次と同じ施設で実習を行う。8 月に 2 年次生に活動の引き継ぎをして実習を終了する。9 月以降は「つくばね学」実習の成果をまとめ、12 月に地域に向けてプレゼンテーション発表を行う。

つくばね学で地域とつながる

